

司会者 / 論文番号			論文ID	論文名	発表者名	
第1日目:11月15日(水)						
第1会場(阿南市文化会館1F 夢ホール)						
9:30-9:45 開会式:開会挨拶 喜岡 渉委員長(名古屋工業大学)						
CEJ Award 授賞式						
9:50-10:50	中野 晋(徳島大学)	一日目1	1	52	透過・越波・回折効果を考慮した位相平均波浪モデルによる捨石防波堤周辺の波浪場解析	沖 和哉
			2	224	斜面崩壊によって誘起される波動とその伝播に関する数値実験	細山田 得三
			3	22	三次元数値流動水槽のための粒子法とBoussinesqモデルとのハイブリット化	五十里洋行
11:00-12:20	森 信人(大阪市立大学)	一日目2	4	29	Two-Way Feedbackによる波浪・海浜流解析に関する研究	山田文彦
			5	89	適応格子を利用した沿岸域での高精度シミュレーションの実現	古山 彰一
			6	431	衝撃捕捉法によるボア状砕波の形成および週上の解析	下西武範
13:20-14:40	今村文彦(東北大学)	一日目3	7	98	流れの場における砕波減衰モデルの多方向不規則波浪変形理論への導入とその検証	間瀬 肇
			8	249	海底地震の地盤変動に伴う津波発生過程の物理特性	若松明史
			9	372	波・流れ共存場における波高減衰に関する基礎的研究	岡崎拓人
			10	418	Level set - CIP法を用いた数値風洞水槽の開発	水谷夏樹
			11	80	大気・海洋間におけるCO2交換速度の波浪条件依存性	志賀寛
14:50-16:10	渡部靖憲(北海道大学)	一日目4	12	78	急勾配海底斜面上のステム波の砕波現象と海浜流場への影響	目見田哲
			13	31	砕波連行気泡運動の画像計測	加島寛章
			14	88	砕波帯における連行気泡特性とその推定	中川智史
			15	190	ジェットの着水過程における局所自由水面及び渦のダイナミクス	横渡 亜由未
16:20-17:40	瀬岡和夫(東京工業大学)	一日目5	16	325	気液2相流における砕波時の流速場と渦構造に関する研究	鷲見浩一
			17	330	固液2相流での砕波に伴う浮遊砂の移動速度に関する研究	兼藤剛
			18	363	三次元的砕波遷移に伴う波峰方向流速と渦スケールの時空間変化	横山 馨
			19	425	三次元砕波混入気泡流と気泡群による砕波乱流強化について	大塚 淳一
第2会場(阿南市文化会館1F 視聴覚室)						
9:50-10:50	矢内栄二(千葉工業大学)	一日目1	86	39	波浪作用下における砂泥質土の粗粒化および液化化特性について	池野勝哉
			87	41	風洞実験に基づく飛砂量鉛直分布予測法の確立	保坂 幸一
			88	71	潮間帯における粘性土地盤の圧密特性に関する研究	熊谷隆宏
11:00-12:20	松原雄平(鳥取大学)	一日目2	89	130	砕波帯内の底質移動に対する拡張二相流モデルの適用	本田隆英
			90	199	混合粗粒砂を用いた大型水路実験による縦断面形状変化の再現と予測	福澤方哉
			91	162	波・流れ共存場における浮遊砂フラックスの定量的評価	雄崎賢一
			92	334	海浜の平衡断面の相違による浮遊砂濃度と流れ場の関係に関する研究	植松達也
13:20-14:40	辻本剛三(神戸市立工業高等専門学校)	一日目3	93	139	釧路港周辺における細粒底質移動特性について	金田 充
			94	315	周防灘北部沿岸域における浮遊泥の輸送特性	中川康之
			95	170	筑後川感潮河道における地形・底質の季節変動に関する研究	一寸木朋也
			96	343	底泥の輸送・凝集・圧密モデルのマハカムエスチーへの適用	Fitri Riandini
14:50-16:10	滝川 清(熊本大学)	一日目4	97	362	干潟地形を対象とした地形と底質粒度に関する平面水理実験	湯浅城之
			98	245	平面2次元と準3次元海浜流モデルによるハイブリット型3次元海浜変形予測システム	白石孝幸
			99	367	一次元水床変動による海底地盤表層からの細粒分移動に関する研究	土田孝
			100	368	コマモ場の干潟地形安定化効果に関する二次元水理実験	嶋田幸伸
16:20-17:40	黒岩正光(鳥取大学)	一日目5	101	171	矩形潜堤周辺に生じる局所洗掘とその時間領域数値解析手法の開発	李光浩
			102	177	駿河湾岸新製離岸堤とサンドパイプスの長期的効果に関する考察	和田一範
			103	180	富士海岸沿津工区に設置された人工リーフの効果評価に関する研究	木村嘉富
			104	364	直轄高知海岸の土砂動態解析と土砂管理計画	久藤勝明
第3会場(阿南市文化会館2F 研修室1)						
9:50-10:50	松見吉晴(鳥取大学)	一日目1	139	36	斜面上の抽水植物群落による波高減衰に関する研究	茂木勇佑
			140	59	傾斜版列を有する遊水室型海水交換防波堤の効果について	橋本一徳
			141	64	天端護岸上部の大型排水路への越波過程に対する粒子法の適用性	安岡恒人
11:00-12:20	神山 勉(電力中央研究所)	一日目2	142	93	越流を考慮したブシネスクモデルによる不規則波の越流量に関する数値計算	平山亮也
			143	108	傾斜堤体の被災変形に伴う消波性能変化について	太田隆夫
			144	114	消波護岸の越波流量の確率分布特性に関する研究	石橋邦彦
			145	270	傾斜護岸への相対水深を考慮した波の打ち上げ高さの一推定法	加藤悠司
13:20-14:40	木村克俊(室蘭工業大学)	一日目3	146	284	現地観測による越波飛沫特性について	山城 賢
			147	320	越波現象に及ぼす波の連なりの効果	齋藤 典之
			148	383	遊水室型海水交換防波堤の効果に及ぼす通水部構造と基礎マウンドの影響について	兼貞 透
			149	390	風波の制御に関する実験的研究	辻村太郎
14:50-16:10	池谷 毅(鹿島建設)	一日目4	150	151	非対称没水構造物群による海底近傍の物質輸送の制御	押川英夫
			151	237	3次元LESモデルによる傾斜式防波堤周辺の乱流特性の数値的検討	Nguyen Danh Thao
			152	258	直立円柱周辺の3次元流体場および局所洗掘の数値解析	横田真也
			153	429	多孔質体によって誘起される流れの時間的・空間的乱れ特性について	中條壮大
16:20-17:40	水谷法美(名古屋大学)	一日目5	154	35	セルラークレーン式波浪制御構造物による構圧力低減工法	藤原隆一
			155	62	海底パイプラインの暴風時耐波安定性に関する一考察	高谷 富也
			156	68	陸上に遡上したソリトン分裂津波の波力に関する実験的研究	池野正明
			157	95	水面変動記録を用いた不規則変動波圧の算定法	宮下雄太
第4会場(阿南市文化会館2F 研修室2)						
9:50-10:50	青木伸一(豊橋技術科学大学)	一日目1	184	216	フェリーADCPデータからの連続的な残差流成分の推定	鈴木高二朗
			185	243	陸岸に囲まれた潮汐フロント域における物質輸送機構	小林志保
			186	100	韓国始潮潮における堆積問題の現状	小野澤恵一
11:00-12:20	吉川恵太(国土技術政策総合研究所)	一日目2	187	123	長面浦への流入塩分と浦内DOの変動機構に関する研究	金里 学
			188	123	河口閉塞とwave set-upが感潮域塩分環境に及ぼす影響の定量的評価	Nguyen Truong Viet
			189	159	有明海白川沖における過去60年間の環境変遷の特性	秋元和實
			190	161	長期現地観測データに基づく伊勢湾の密度・水質構造の季節変動特性	川崎 浩司
13:20-14:40	日比野忠史(広島大学)	一日目3	191	203	水俣湾湾口におけるSS輸送の現地観測	矢野真一郎
			192	208	夏季の有明海奥部における懸濁物輸送とその水質への影響	速水祐一
			193	225	有明海奥部における表層底質の分布特性と底質環境の形成要因	山本浩一
			194	240	脇川感潮域における懸濁物質の観測	伊福 誠
14:50-16:10	五明美智男(東亜建設工業)	一日目4	195	241	大阪府港湾海域における付着生物の出現特性	新開 理絵
			196	250	現地観測および数値解析による伊勢湾・三河湾の貧酸素水塊形成要因の比較	鶴飼亮行
			197	336	閉鎖性内湾における夏季密度成層形成時の海水交換と鉛直混合に関する研究	陸 真祐
			198	338	夏季有明海干潟前縁域における流動構造と貧酸素水塊の動態に関する現地観測	松村航祐
16:20-17:40	中山哲嗣(水産総合研究センター)	一日目5	199	413	大阪湾奥部沿岸域における懸濁懸濁物質の挙動と底泥特性	西田修三
			200	434	紀淡海峡における水質変動特性と栄養塩輸送	金 漢九
			201	446	低気圧や台風経路の違いが中海の水位変化に与える影響	黒川岳司
			202	13	アマモ場拡大の実態把握と種苗移植による新規群落形成の試み	山木克則
第5会場(富岡公民館2F 大ホール)						
9:50-10:50	間瀬 肇(京都大学)	一日目1	62	1	異常波浪の予測とその推定精度について	森 信人
			63	450	観測データを用いたグリーン関数重ね合わせ法によるリアルタイム津波波源域推定法	川村健太
			64	77	大阪湾湾奥を対象とした流況予測システムの精度向上に関する研究	安達貴浩
11:00-12:20	高木利光(アイ・エス・エー)	一日目2	65	148	潮差と河川流量が河口域の成層強度と浮遊砂泥輸送量に与える影響	荒木大志
			66	179	有明海の潮流ならびに物質輸送の変化に関する研究	小松利光
			67	273	諫早湾湾奥の締切りが有明海の潮汐・潮流に与えた影響	田井明
			68	277	夏季小潮期の現地観測による諫早湾の海水交換に関する検討	齋田倫範
13:20-14:40	由比政年(金沢大学)	一日目3	69	299	大気・海洋・波浪結合モデルに基づく伊勢湾の流動・密度構造の数値解析	村上智一
			70	340	変動の激しい潮流に影響される海域での浮標によるブルーム追跡	Jeremy BRICKER
			71	353	MITgcmによる内部潮汐波の変形、台風通過後の海面水温低下の数値実験	Lee HanSoo
			72	354	DBF海洋レーダによる諫早湾湾口部の流況観測	多田彰秀
14:50-16:10	二瓶泰雄(東京理科大学)	一日目4	73	70	台風により大陸棚近傍に生成される内部波の数値解析	中山恵介
			74	398	大阪湾北部港湾域の流動特性と水質への影響	入江政安
			75	426	潮汐場における河川水の拡がり特性に関する基礎実験	橋本彰博
			76	443	中国・黄河から渤海に流入する高濃度水塊の挙動特性に及ぼす潮流及び風応力の影響	中辻啓二
16:20-17:40	松永信博(九州大学)	一日目5	77	432	IAUデータ同化手法のメソ気象モデルへの導入と台風9918号の海上風・波浪・高潮の追算	川口浩二
			78	87	海洋観測レーダーと波浪推算モデルを用いた実海域での波浪被覆率の解析	柴田武志
			79	149	3次元乱流場における固体粒子の沈降速度の数値実験	塩崎達平
			80	257	水盤下に拡がった油の流れによる変形及び移動に関する数値計算	松崎義孝

司会者 / 論文番号			論文ID	論文名	発表者名
第2日目:11月16日(木)					
第1会場 (阿南市文化会館1F 大ホール)					
9:30-10:50	岡安章夫 (東京海洋大学)	二日目1			
		20	150	地形成離岸流の発生条件について	吉井匠
		21	153	離岸流の時間変動特性について	野村尚生
		22	187	滞堤周辺の砕波・乱流特性を考慮した海浜流場予測モデルに関する一考察	田島芳満
		23	110	サンゴ礁海域の安全利用に関する基礎的研究	長山昭夫
11:00-12:20	橋本典明 (九州大学)	二日目2			
		24	86	内湾・内海における波浪の長期推算システムの構築 - 伊勢湾の場合 -	森 正憲
		25	350	九州西部海域における主要気象じょう乱による海上風の再解析	駒口友章
		26	228	北西太平洋における異常波浪出現の時間間特性	仲井圭二
		27	11	長期波浪観測値と気象データに基づく波浪の変動解析	永井紀彦
13:20-14:40	永井紀彦 (港湾空港技術研究所)	二日目3			
		28	238	斜面上を運動する粒子群に誘起される流体運動に関する実験的研究	河野哲也
		29	97	荒天時の屈折波浪場の解析	G.M. Hasan Jahid
		30	81	確率的台風モデルを用いた波高の極値推定システムの相互比較	野中浩一
		31	263	観測風を入力条件とした瀬戸内海における2004年台風時波浪の推定	畑田佳男
14:50-16:10	北野利一 (名古屋工業大学)	二日目4			
		32	359	大気安定度と波浪を考慮した海面せん断応力モデル	山下隆男
		33	411	各種波浪データ同化手法の実海域への適用性に関する検討と波浪客観解析値の作成	松浦邦明
		34	246	バ型海浜における波群性長周期波の共振現象	Akbarpour Jannat M.R.
		35	264	不規則波の砕波に伴う発生自由長周期波と包絡波の関係について	関 克己
16:20-18:00	松山昌史 (電力中央研究所)	二日目5			
		36	24	歩行者に作用する津波力の定式化とスマトラ沖地震津波のビデオによる検証	伊東慎一
		37	48	植生域氾濫の数値計算法に関する研究	丹木真智
		38	50	流木の横拡散と移流拡散に関する実験 - 複数流木の衝突確率 -	松富英夫
		39	63	津波地震がもたらす幾つかの地変形態を対象とした津波形成過程の数値解析	柿沼太郎
40	65	浮体群を伴う津波氾濫流の3Dシミュレーション	奥 謙介		
第2会場 (阿南市文化会館1F 視聴覚室)					
9:30-10:50	後藤仁志 (京都大学)	二日目1			
		105	256	陸上遊上津波による矩形構造物周辺の洗掘と地盤の応力変動に関する研究	倉光泰樹
		106	290	港内埋没対策技術と地形変化予測モデルの開発	牧野弘幸
		107	328	CMRモデルによる離岸堤・潜堤・DRIM背後の海浜変形シミュレーション	小野信幸
		108	337	取水流の卓越する砂・シルト混合堆積域における海底地形変化予測モデル	金山 進
11:00-12:20	西 隆一郎 (鹿児島大学)	二日目2			
		109	445	突堤群による掃流砂収支の数値検討	中村聡志
		110	3	後浜変形過程に及ぼす波の影響	有働恵子
		111	174	汀線近傍地形の沿岸方向の変動特性	友田尚貴
		112	30	汀線変化モデルの漂砂量係数同定に及ぼす検証データの影響	姜 炫宇
13:20-14:40	横木裕宗 (茨城大学)	二日目3			
		113	157	判別分析を用いた定性的汀線変動予測とその予測精度に関する考察	竹内麻衣子
		114	69	石川海岸松任地区における沿岸砂州の長期変動特性	由比政年
		115	107	鳥取海岸における海底地形の短期変化について	木村 晃
		116	113	汀線とバーの変動と沿岸方向移動	笹倉慎也
14:50-16:10	伊福 誠 (愛媛大学)	二日目4			
		117	53	画像記録装置を用いた河口地形変動の観測とそのモデリング	中山大輔
		118	169	筑後川感潮河道における1950年代以降の底質変化と河床変動の関係	横山勝英
		119	18	河口模型を用いた流出土砂の周辺海域への粒径別移動に及ぼす波の影響検討	清水隆夫
		120	181	粒径を考慮した大井川河口域土砂移動機構の研究	大飼拓志
16:20-18:00	山下隆男 (広島大学)	二日目5			
		81	147	Hurricane Katrinaによる高潮被害の調査	柴山知也
		82	42	Hurricane KatrinaによるBiloxi周辺の高潮被害分布とその外力特性の検証	藤原弘和
		83	175	ハリケーン・カトリーナの高潮災害の特徴とワーストケースシナリオ	高橋重雄
		84	347	大気・波浪・海洋結合モデルによるハリケーンカトリーナの高潮場のシミュレーション	Kim KyeongOk
85	6	ハリケーン・カトリーナによる高波の解析	Tracey H. Tom		
第3会場 (阿南市文化会館2F 研修室1)					
9:30-10:50	池野正明 (電力中央研究所)	二日目1			
		158	160	段波と矩形物体の衝突・漂流過程における作用波圧特性	梅田 充哉
		159	178	エプロン上のコンテナへの津波の作用と漂流衝突力に関する実験的研究	水谷法美
		160	231	遊上津波力に関する大規模実験	有川太郎
		161	260	桁橋の津波被害再現実験	庄司学
11:00-12:20	半沢 聡 (テトラ)	二日目2			
		162	308	洋上風力発電のための軽量セミサブ浮体構造物の波浪動揺特性	大山 巧
		163	449	船体動揺解析に用いる港湾内バース地点での入射波スペクトルのモデル化に関する検討	長松徹
		164	455	津波による大型係留船舶の動揺特性と係留施設への影響	大木 泰憲
		165	4	大規模水理模型実験結果に基づく防波堤マウンの期待変形量の計算法と適用例	横田正芳
13:20-14:40	大山 巧 (清水建設)	二日目3			
		166	94	不規則波の入射に伴うケ・ソン護岸連結目地内での流体共振特性	斎藤武久
		167	98	砂礫層内における長周期水流動の現地観測	安藤興太
		168	155	護岸背後の地盤の陥没現象と裏込土砂の流出発生限界に関する研究	中村友昭
		169	204	ケーソンを単一要素とした個別要素法による混成堤の挙動計算	高橋通夫
14:50-16:10	関本恒浩 (五洋建設)	二日目4			
		170	329	北海道森港における消波型高基混成堤の波力特性に関する現地観測	山口圭太
		171	361	台風0314号による釜山新港東防波堤の被災メカニズムと安定性について	姜明求
		172	442	ライフサイクルコストを考慮した護岸被覆材の最適設計	辻尾大樹
		173	27	水中投入粒子群挙動および誘起流動過程	原田英治
16:20-18:00	下道健一郎 (港湾空港技術研究所)	二日目5			
		174	140	数値波動水槽を用いた構造物に作用する流体力検討技術	押村嘉人
		175	282	海岸覆道用防波板の高波による被災特性とその再現実験	古川 諭
		176	173	日本海における波浪を利用した海水揚水工ケーソンの現地評価	瀬戸口喜祥
		177	6	繰返し応力レベルによる海洋構造物支持地盤の力学特性変化とその評価法	横濱勝司
第4会場 (阿南市文化会館2F 研修室2)					
9:30-10:50	前野詩朗 (岡山大学)	二日目1			
		203	47	スリック形成に着目した造礁サンゴ幼生のリーフ内初期分散過程に関する数値解析	有坂和真
		204	73	N分散相二流体モデルに基づく干潟土壌の粒径別挙動及び地下水面の数値解析	高橋俊之
		205	90	アマモ生予測モデルの開発と現地検証	金澤 剛
		206	91	造成干潟における機能発揮要因に関する研究	篠崎 孝
11:00-12:20	西田修三 (大阪大学)	二日目2			
		207	127	河口干潟で形成される土壌環境と底生生物の棲息要件	中下慎也
		208	211	有明海熊本沿岸の干潟底泥によるNH4+吸着特性	高橋 篤
		209	245	盤洲干潟におけるラグランジュの手法を用いた水質観測	中村由行
		210	287	酸素消費速度に着目した干潟・浅瀬の環境評価	前田周作
13:20-14:40	清野聡子 (東京大学)	二日目3			
		211	302	石垣島アンパル干潟におけるカニ類優占2種の繁殖時期の推定及び幼生放出	河内 敦
		212	374	干潟の底生微生物類量の季節変動に及ぼすヤマトサガニの摂餌の影響に関する考察	大谷社介
		213	375	干潟底生生物の住活動における臨界現象と適合土砂環境の解明	佐々真志
		214	391	熊本県沿岸における干潟の底底環境と酸素消費	横野正典
14:50-16:10	田中昌宏 (鹿島建設)	二日目4			
		215	401	閉鎖性海域に造成した人工干潟に関する基礎的調査	中瀬浩太
		216	402	気象擾乱に伴うサンゴ礁海域の物理・水質環境特性の動的変動過程について	山本高大
		217	7	森林生態学に基づいた津波防潮林の防災機能の評価	岩塚雄大
		218	192	宮良川マングローブ水域における土砂輸送特性に関する長期連続モニタリング	二瓶泰雄
16:20-18:00	中村義治 (水産総合研究センター)	二日目5			
		219	262	小川原湖における水質・底質環境およびヤマトシジミの生息状況について	久保田光彦
		220	281	冬季の東部瀬戸内海における残差流と栄養塩環境	阿保勝之
		221	291	鹿島灘・九十九里浜沿岸での一次生産に及ぼす利根川・那珂川の影響について	新井 雅之
		222	220	人工構造物の表面加工によるサンゴ群集着生促進効果の評価	山本秀一
223	266	砂浜海岸生態系の環境影響評価に関する基本的な検討	蔦 勲		
第5会場 (宮岡公民館2F 大ホール)					
9:30-10:50	武若 聡 (筑波大学)	二日目1			
		254	85	相模湾周辺海域における波高の年別変動と長期変動の考察	大 福 学
		255	105	確率台風モデルを用いた地球温暖化後の瀬戸内海における高潮の出現確率分布の推定	河合弘泰
		256	230	高潮計算精度に及ぼす入力台風気象場の再現性の影響	吉野 純
		257	274	黒潮の蛇行・直進による西日本南岸の水位変動量の推定	駒井克昭
11:00-12:20	泉宮尊司 (新潟大学)	二日目2			
		258	398	台風ボーガスの高度化による数値予報モデルを用いた海上風推算手法の精度向上	中野俊夫
		259	115	海面上昇後のマーシャル諸島マジュロ環礁における地形維持過程の数値シミュレーション	佐藤大作
		260	366	茨城県沿岸の長期の高潮・津波浸水リスク	信岡尚道
		261	285	海岸に漂着する流木群の挙動解析	目黒邦夫
13:20-14:40	重松孝昌 (大阪市立大学)	二日目3			
		262	202	人工海底山脈による湧昇栄養塩量の非定常数値解析	栗原明夫
		263	14	Boiid型群衆モデルによる津波避難シミュレーションの提案	丸山由太
		264	168	中学校における沿岸防災教育の実施とその有効性	黒崎ひろみ
		265	189	海岸の急速な人工化を防ぐ上で必要な災害復旧制度の改良	石川仁憲
14:50-16:10	平石哲也 (港湾空港技術研究所)	二日目4			
		266	118	1964年新潟地震津波にみる港湾域での複合災害の実態	今村文彦
		267	215	PCクラスタを用いたリアルタイム津波予測手法の開発とその活用に関する研究	鈴木進吾
		268	226	津波浸水予測における航空機搭載型レーザデータの適応性	村嶋隆一
		269	235	津波遊上時の街区レベルでの群衆避難行動シミュレーション	掛川秀史
16:20-18:00	藤原弘和 (八戸工業高等専門学校)	二日目5			
		270	254	自主防災の意識向上に対する津波防災ワークショップの役割	佐々木信也
		271	283	地形変化および海岸堤防の変状を考慮した津波被害想定手法	加藤史訓
		272	293	津波による船舶被害軽減のための避難海域に関する検討	今津雄吾
		273	307	津波の陸上遊上域における油・水輸送問題の数値実験	岩淵洋子

司会者 / 論文番号			論文ID	論文名	発表者名	
第3日目:11月17日(金)						
第1会場(阿南市文化会館1F 夢ホール)						
9:30-10:50	鈴木 靖(日本気象協会)	三日目1	41	217	台風0423号による円山川河口部に位置する津屋山港周辺の浸水原因について	市瀬友啓
			42	103	Super Gradient Wind(SGW)を考慮した台風の風の推算と高潮数値計算	嶋崎実
			43	165	瀬戸内海沿岸における波浪と高潮の同時生起特性	下元幸夫
			44	117	リアルタイム観測情報を利用した津波予報の段階的修正法	越村俊一
			45	172	2004年インド洋大津波によるバンダ・アチェ市街地の津波氾濫解析と被害評価	大家隆行
11:00-12:20	藤間功司(防衛大学校)	三日目2	46	176	大隅橋上における津波のリソトン分裂波に関する数値モデル	松山浩史
			47	194	マングローブ林内を遡上した津波の挙動と樹木の破壊条件—2004年インド洋大津波によるタイKhao Lakでの被害調査—	柳澤英明
			48	66	2004年インド洋津波の発生メカニズムの数値解析的検討	松本浩幸
			49	234	津波によるコンテナの漂流挙動シミュレーションモデルの適用性	熊谷兼太郎
			50	267	時間平均された海面潮流場を用いた津波のリアルタイム予測	泉宮尊司
13:20-14:40	越村俊一(東北大学)	三日目3	51	276	スリランカにおけるインド洋津波の数値計算による再現に向けて	富田 孝史
			52	436	リソトン分裂津波の変形と波力特性に関する実験的研究	安田誠宏
			53	296	瀬戸内海における津波挙動に及ぼす潮汐および入射波高、周期の影響	宮本大輔
			54	308	インド洋津波における波数分散効果について	嶋原良典
			55	316	石油タンクに作用する津波波力と被害予測手法	藤井直樹
14:50-15:50	松富英夫(秋田大学)	三日目4	56	321	津波による漂流物の衝突力の実験と評価方法の提案	福山 貴子
			57	322	スリランカ海岸林の樹種による破壊条件と津波到達遅延時間の相違	田中規夫
			58	324	衛星画像から判明したIndonesia国Banda Aceh市街地の2004年インド洋津波による流失家屋の分布	行谷佑一
			17:05-17:15 閉会式: 閉会挨拶 佐藤慎司(東京大学)			
			海岸工学論文賞 授賞式			
第2会場(阿南市文化会館1F 視聴覚室)						
9:30-10:50	清水琢三(五洋建設)	三日目1	121	210	物部川における河口閉塞の現状と河口部潮位変動	中野 晋
			122	279	夏井川の河口変動特性と河口開削工の効果に関する検討	長林久夫
			123	360	黒部川河口の周辺海域における大規模な土砂崩落の実態	辺見聡
			124	101	河口テラスの縮退が漂砂系の連続性に及ぼす影響について	Truong Thien Khang
11:00-12:20	柴山知也(横浜国立大学)	三日目2	125	303	波崎海岸における汀線位置の長期変動特性	鈴木峯一
			126	412	Bagnold概念に基づく(混合粒径海浜の変化予測モデル	芹沢真澄
			127	447	岩木川水戸旧河道閉塞時の波浪追算と漂砂過程	佐藤 正規
			128	326	地中探査レーダーによる三保半島の地形発達過程	吉河秀郎
13:20-14:40	田中 仁(東北大学)	三日目3	129	227	鳥取沿岸の侵食実態と総合的な土砂管理の検討 - 千代川右岸流砂系の例 -	安本善征
			130	381	石狩湾の土砂収支と底質の移動特性	山崎 真一
			131	389	長期深浅測量データに基づく(湘南海岸の海浜変形の実態分析	木下幸夫
			132	51	海浜還元砂の最適な投入地点の選定手法に関する研究	小塚将之
14:50-15:50	浅野敏之(鹿児島大学)	三日目4	133	193	動的平衡海浜に建設されたヘッドランド群の漂砂制御効果の定量的評価	杉山 晋一郎
			134	197	遠州灘海岸における長期的海浜変形予測と養浜の効果検討	甲賀 肇
			135	373	堰堤式養浜工法の検討	本田秀樹
16:00-17:00	栗山善昭(港湾空港技術研究所)	三日目5	136	394	地形・粒径変化予測モデルによるヘッドランドの漂砂制御効果の定量評価	熊田貴之
			137	433	粗粒材養浜による砂浜の安定化に関する現地実験	大木康弘
			138	109	阿字ヶ浦海岸汀線近傍における礫出現に関する現地調査	横木裕宗
第3会場(阿南市文化会館2F 研修室1)						
9:30-10:50	上野成三(大成建設)	三日目1	242	146	有明海における干潟海域環境の回復・維持へ向けた対策工法の実証試験	増田龍哉
			243	200	アサリ初期稚貝の生息環境に与える地形変動の影響評価	越川義功
			244	206	人工干潟の地形安定化工法に関する現地実験 - 阪南区干潟創造実験 -	上野成三
			245	219	直立型海岸構造物を利用した浅場創出事業	岩村俊平
11:00-12:20	陸田秀実(広島大学)	三日目2	246	269	人工干潟における底生動物生息環境の改善に関する実証実験	市村 康
			247	312	英虞湾の浪漫ヘドロを用いた人工干潟における潮汐に伴う水質変動の連続観測	国分秀樹
			248	327	干潟堆積構造の地球物理学的評価と形成要因 - 砂質・泥質・砂泥二層干潟 -	渡部要一
			249	333	人工潟湖干潟における生態系発達機構と物質収支に関する研究	森本剣太郎
13:20-14:40	磯部雅彦(東京大学)	三日目3	250	355	沿岸未利用地への海水導入による環境再生実験に関する水質シミュレーション	高山百合子
			251	365	波浪による一次元水圧変動下のアマモ場海底地盤の安定性	浅海綾一
			252	399	潮間帯付着生物相による海域環境の定量評価指数の提案 - 大阪湾湾奥をケーススタディとして -	吉村直孝
			253	422	八代湾における藻場造成実験について	二宮早由子
14:50-15:50	吉田明徳(九州大学)	三日目4	178	15	VOF - DEM - FEM連成モデルによる潮場の挙動解析	前野詩朗
			179	242	海岸侵食によるSoft cliffsの斜面崩壊に関する検討	川村志保
			180	54	消波ブロック被覆堤の滑動量予測を用いた性能照査型設計法の現地への適用	下道健一郎
16:00-17:00	山本泰司(土木研究所香島土木研究所)	三日目5	181	207	大水深地点におけるケーソン式防波堤の信頼性設計手法の提案	高木泰士
			182	305	消波ブロック被覆堤の施工時安定性照査に用いる目標安全性水準に関する研究	吉岡 健
			183	420	運移流動を伴う気液スラグ流における加速損失について	山田泰正
第4会場(阿南市文化会館2F 研修室2)						
9:30-10:50	中村直行(港湾空港技術研究所センター)	三日目1	224	295	港湾環境に及ぼす直立壁面の付着性二枚貝の影響に関する考察	三好順也
			225	408	半開放性湾の水質変動モデル精度向上へ向けた取り組み - 石狩湾を事例として -	足立久美子
			226	448	四国全域におけるシオマネキの生息環境評価	藤田真人
			227	324	海崖前面の養浜砂浜域における地下水環境動態	関口秀雄
11:00-12:20	佐々木淳(横浜国立大学)	三日目2	228	143	有明海干潟上における二酸化炭素フラックス観測	田中健路
			229	395	波浪推算モデルを援用した飛来塩分の発生・輸送過程に関する数値解析とその現地観測	山田文則
			230	121	太田川デルタ地下水の流動と海底腐蝕層の形成	日比野忠史
			231	195	広域沿岸生態系ネットワーク解明にむけての琉球列島周辺の海水流動と浮遊幼生輸送解析	瀬岡和夫
13:20-14:40	矢持 進(大阪市立大学)	三日目3	232	294	海面清掃船に設置された自動水質測定装置を用いた有機態汚物質の沈降・堆積量の把握	高御堂長治
			233	298	間隙水浸透場における有機泥の膨張特性	小島佑允
			234	17	新浜湖における水環境特性と微細気泡による曝気効果の検討	田中隆二
			235	164	閉鎖性水域におけるマイクロバブル発生装置を用いた溶存酸素供給効果の把握	佐々木洋之
14:50-15:50	佐藤慎司(東京大学)	三日目4	236	205	酸素飽和度200%の高濃度酸素水発生装置を利用した底質浄化効果と最適放流量の設計方法	片倉 徳男
			237	421	鉛直循環流誘起堤体の曝気能に関する実験的評価	遠藤 徹
			238	23	淡水供給が雨水のみの海岸におけるコン移植実験 - 阪南区干潟創造実験 -	林 文蔵
16:00-17:00	加藤史朗(国土技術政策総合研究所)	三日目5	239	58	谷津干潟におけるアオサの異常繁茂と干潟環境への影響評価	井本辰哉
			240	133	移植サングの定着率に関する長期現地モニタリングおよびサング移植の適用性の検討	遠藤秀文
			241	144	「ロープ式藻場」による垂直構造物への環境機能付加手法に関する基礎的実験及び考察	中西 敬
第5会場(富岡公民館2F 大ホール)						
9:30-10:50	福澤方雄(国土技術政策総合研究所)	三日目1	274	261	三次元河口流解析用モードスプリット法の提案	大橋 暁
			275	239	高潮災害時における沿岸農地への土砂流入部の予測モデル	桐 博英
			276	352	東京湾流域圏におけるリン循環の推定と社会的変化による応答予測	上田嘉通
			277	333	2004年インド洋津波によるタイ南部農村地帯の長期的被害調査	中矢昌郎
11:00-12:20	高橋重雄(港湾空港技術研究所)	三日目2	278	25	漁船を活用した海底地形情報取得システムのデータ解析に関する考察	畑中勝守
			279	154	画像解析による波浪計測手法に関する研究	有田 守
			280	323	GPS信号を用いた海洋波情報の計測 - 波長計測のシミュレーション評価 -	奥田成幸
			281	380	超音波流速計による浮遊粒子の粒径を考慮した浮遊砂濃度の測定法	稲田 景
13:20-14:40	小林智尚(岐阜大学)	三日目3	282	12	ブイ動揺特性を考慮した大水深波浪観測データ処理システムの構築	清水勝義
			283	38	堆積物による酸素消費と生成 - 渦相関法を適用した新たな測定手法の開発 -	桑江朝比呂
			284	46	検潮井戸の周波数応答特性計測システムの開発	岩崎孝夫
			285	92	水圧センサーを用いたオンサイト越波計の開発に関する模型実験	長谷川蔵
14:50-15:50	八木 宏(東京工業大学)	三日目4	286	198	高解像度画像を用いた光学理論による藻場分布推定法の開発	二宮順一
			287	258	遠距離海洋レーダによる東シナ海南西部の表層流観測	児島正一郎
			288	608	マルチビームソナーを用いたアマモ群落現存量推定法の開発	奥村宏征
16:00-17:00	富田孝史(港湾空港技術研究所)	三日目5	59	367	津波の発生に及ぼす断層破壊の動的特性の影響	奥村与志弘
			60	416	インド南東部におけるスマトラ沖地震津波の被災調査	原田賢治
			61	392	スマトラ沖地震津波被害実態調査に基づく(波源モデルの検証と建物被害関数の提案 - スリランカ国Matara市の被害を対象として -	木村 健太郎